

625億円を認定

〈10特別会計・4企業会計も認定〉

厳しい財政運営の中

「一般会計・特別会計・企業会計各決算」14件の 附帯意見を附し認定！

平成19年度第3回定例会は8月31日から9月26日までの会期で開催され議案35件、報告2件が上程され、奥州市医師要請奨学資金条例の制定等条例制定3件、平成19年度奥州市一般会計補正予算（第3号）（第4号）議定など補正予算12件、平成18年度奥州市一般会計歳入歳出決算認定等決算認定15件、請願・陳情等9件の常任委員会審査がおこなわれました。

一般質問は9月4日から9月11日までのうち5日間で行われ、20名の議員が登壇し、市長・教育委員長への考えを質しました。

合併後初めてとなる平成18年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定については、議長を除く全議員による決算審査特別委員会（佐藤克夫委員長）を設置し、各常任委員会が所管する各部ごとの分科会審査を行いさらに議員全員の総括審査2日間を取り、9月11日より21日までの間で行われ、平成18

年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定については、「機構改革に当たっては、総合支所や議会の意見を充分踏まえ、市民サービスを低下させることなく、機構改革となるよう改められたい」など14件の附帯意見を附して全て原案通り認定されました。

昨年11月設置されていた議員全員による「総合水沢病院事業調査特別委員会」は、1年間の調査をまとめ、明らかになった問題点を整理し、市長・総合水沢病院事業管理者へ10項目の意見書を提出しました。この間、県立胆沢病院の産婦人科の廃止問題・小児科の存続等も危惧されることから「総合水沢病院事業調査特別委員会」を終了し、新たに全議員による「奥州市地域医療調査特別委員会」（佐藤邦夫委員長）を発足させ今後は地域医療再生のため議員全員で頑張つてまいります。

補正予算のポイント

◎住宅リフォーム助成事業制度について

奥州市に在住する者が住宅をリフォームする場合、工事費が30万円以上について、市が工事費の1割、10万円を限度に市内商店の商品券で助成します。（詳細は都市整備部へお尋ねください。）250万円（当初予算300万円は、7月始めに終了しました。）

◎障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業給付費

1800万円

◎災害復旧関係（大雨被害）

・農林水産施設関係（農地農業用施設）
3529万円

・土木施設関係費（道路橋りょう）
3017万円

（9月17・18日の大雨で北上川の氾濫による水沢区姉体の北上川堤防の漏水状況、前沢区生母、白鳥館衣川区地域の被害状況等を9月18日、議員全員が現地調査しました。）

◎医師要請奨学資金貸付事業経費
1680万円

◎障害者授産活動支援事業経費
300万円

市役所本庁舎正面玄関を入つて右側に、障害者が運営するコーヒーストップを設置します。